



宍道湖の夕日

近畿島根県人会
だより
107号
令和7年
11月8日発行

連続テレビ小説「ばけばけ」と松江市PRについて

連続テレビ小説「ばけばけ」の放送が始まってひと月たちました。もちろん皆さんもご覧になっていることと思います。

明治23年、英語教師として松江市に赴任した小泉八雲と出会った松江市出身の妻・セツ。「ばけばけ」はセツをモデルとしたドラマで、松江を舞台とした連続テレビ小説は平成20年度後期の「だんだん」以来、17年ぶりです。5月と9月には松江市内でのロケもありました。

松江市では、「ばけばけ」の制作・放送を、全国・海外に向けた松江の魅力発信に最大限生かし、これを一過性のもので終わらせず、小泉八雲・セツの精神・功績を後世に引き継いでいくため、令和6年12月に官民学26団体で「小泉八雲・セツのドラマをイカしてバケる松江推進協議会」を設立し、誘客プロモーションや受入体制整備などの取り組みを進めています。

あげ、
そげ、
ばけ



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江

小泉八雲・セツのドラマを
イカしてバケる松江推進協議会
公式ロゴマーク



ロゴ入りペナント（松江駅ロータリー）



小泉八雲記念館

なかでも、7月から新たにスタートした「あげ、そげ、ばけめぐり」は、小泉八雲記念館、小泉八雲旧居、松江城など市内11の観光施設をお得にめぐり、協賛店でのグルメやお土産を特典付きで楽しむことができる、今イチ押しのかんぱんです。



八重垣神社の鏡の池縁占い



月照寺の大亀

県人会の皆さんには、ぜひこの機会にあらためて島根にお帰りいただき、セツが娘時代に鏡の池で縁占いをした八重垣神社や、八雲が愛した月照寺、城山稲荷神社、出雲大社などの神社仏閣、そして、宍道湖の夕日といった「八雲とセツゆかりの地」を楽しんでいただきたいと思います。ご家族やご友人にも「八雲とセツゆかりの地をめぐる旅」を勧めていただくと、より楽しく思います。



小泉八雲とセツが
出会ったまち松江
特設ウェブサイト
「443(しじみ)が結ぶ
ふたりのキセキ」

【お問い合わせ先】

松江市観光振興課
小泉八雲・セツのドラマ応援室
TEL 0852-555384

大阪・関西万博における島根県催事の出展報告



観光案内カウンターの様子

来場者の多くは日本人観光客でしたが、インバウンド観光客や各国パビリオン外国人スタッフの来場もあり、展示物の内容や体験の様子を写真で撮られていました。

また、島根の自然や文化に興味を示していた方が多く、多言語対応の観光案内カウンターは質問や資料を求める方が絶えず訪れ、用意していたパンフレットや案内チラシが無くなる場面もあるほどでした。対応にあたった窓口スタッフの声として、関西から島根へのアクセス方法や県内での移動に関する質問が多く、ほかにも過去に島根を訪れた際の思い出やNHK連続テレビ小説「ばけけけ」の舞台となったこと等をきっかけとして会話が弾むケースもあったとのことでした。



場内展示の様子



石見神楽公演の様子

特に、石見神楽公演を実施する時間帯には、場外で入場待機列が発生しましたが、運営事業者や協力団体と連携して臨機応変に対応し、大きなトラブルもなく5回の公演を無事に行うことが出来ました。（会場スペースの関係で、1公演最大一五〇名程の収容、計七五〇名程が観覧）

今回の出展を通じて、多くの来場者が自発的に島根の情報を求める様子が見られ、観光の目的地としての島根の潜在力を強く感じました。

今後も近畿島根県人会の皆様には、島根の魅力発信や来訪促進に引き続きご助力いただきますよう、お願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

島根県 商工労働部 観光振興課
TEL…0852-22-6756

島根県では、大阪・関西万博の会場内催事場「ギャラリーEAST」にて、令和7年8月27日（水）～31日（日）までの5日間、「ご縁も、美肌も、しまねから。」をテーマとして島根の魅力を発信する催事を執り行いました。

5日間の総来場者は三万一千七十六人、縁結びの絵馬掛け体験五〇一名、石見神楽の衣裳着用体験二四七五名、石見銀山や知夫里島のVR体験一五二〇名、島根県立美術館によるPRと葛飾北斎ペーパーバッグづくり体験五三三名と、想定を上回る集客を記録することが出来ました。

島根県物産観光館のご紹介



島根県物産観光館

島根県松江市にある「島根県物産観光館」では、島根の優れた県産品を数多く展示、販売するとともに県内の観光パンフレットを取りそろえ、観光情報の提供と観光案内を行っています。

このたび、約8カ月間の大規模改修を終え、令和7年4月にリニューアルオープンしました。今回は、そのリニューアルの内容を中心に皆様にご案内します。来県の際はぜひお立ち寄りください。

【キッチンステージ】

県内の食材を使った「あご出汁ラーメン」や「しじみラーメン」などを提供する常設店舗の他、期間限定で様々な店舗が出店できるスペースを設置しました。
温かいお食事をお召し上がりください。

【イートインスペース】

1階の通りに面した明るい場所に40席のイートインスペースを設置しました。
こちらでは、キッチンステージや店内で買い上げた商品をお召し上がりいただけます。

【工芸サロン】

2階に設置したイベントスペース（工芸サロン）では、島根県の工芸品の展示など、随時イベントを開催しています。島根県の工芸品の魅力を存分に楽しめください。



9月のイベントの様子
(9/1～9/28「石見焼展」)



4月の出展店舗の様子

今話題の「小泉八雲・セツの出会いのはじまりの地 島根」にちなんだ商品を集めたコーナーを館内に設置しています。怪談をモチーフにしたお菓子や雑貨など、小泉八雲の作品に登場するキャラクターをデザインしたアイデア商品を数多く取り揃えております。



特設コーナー

ECサイト（しまねのふるさと直送便）

店舗で販売している県産品をインターネットでもお買い求めいただけます。懐かしい商品をぜひお取り寄せください。



<https://www.shimane-bussan.or.jp/>

インスタグラム

店舗でのイベント情報等を随時発信しています。ご来館の際は、こちらで店舗の最新情報をご覧ください。



<https://www.instagram.com/bussan.shimane/>

【お問い合わせ先】

一般財団法人島根県物産協会
TEL：フリーダイヤル

0120-404150

HP：<https://www.shimane-bussan.or.jp/sb/>



しまね移住フェア&しまね暮らしマルシェ in 大阪 レポート



しまね移住フェア&しまね暮らしマルシェ in大阪のチラシ

移住相談だけでなく、特産品販売会や島根の食材を使用した飲食ブースの出演もあり、移住を検討していない方にも島根県のくらしや各市町村独自の魅力を訴求する絶好の機会となりました。

移住相談に訪れた方には、各市町村の移住相談員が丁寧に対応し、移住をするうえでの不安や心配事の解消に努めました。

来場者にお話を聞くと「スタッフの方がとても親切で、移住に関する補助制度やどこが自分の希望条件と合っているのか詳しく聞けてよかった。」と満足された様子でした。

漠然と移住を検討するものの、一歩が踏み出せない方は多く、こうした方々の背中を、やさしく押してあげることが、移住への第一歩につながると考えています。



移住相談の様子

最後に、島根県では、3月に「第2次島根創生計画」を策定し、様々な取組を行っています。

特に、人口減少は待ったなしの問題であり、島根に残る人、戻る人、移ってくる人を増やすため、島根の魅力を県内外に広くアピールし、多くの方々を知っていただくことが必要となります。

今回のイベントもこうした目的のもと開催しており、「しまね移住フェア&しまね暮らしマルシェ in 大阪」をきっかけに一人でも多くの方が島根への移住を検討していただけることを願っています。

去る9月28日にグランフロント大阪北館で「しまね移住フェア&しまね暮らしマルシェ in 大阪」が開催されました。

この日は、島根県から全19市町村、関係機関や団体が集まり、移住相談や特産品販売会、ステージイベントなどの様々な企画が行われました。

島根への移住を検討されている方だけではなく、興味関心がある方、特産品を求める方など一七〇七名の方が来場され、盛り上がりしました。

この取組は、関西圏在住者に島根県のくらしや移住支援制度を広くPRすることを目的に昨年度から開催しています。



特産品販売会の様子

【お問い合わせ先】

島根県大阪事務所

TEL・06-6364-3605

こんにちは 雲南市近畿ふるさと会 です。

近畿地方で活動される市町村人会のご紹介です。
第42回は「雲南市近畿ふるさと会」のご紹介です。



雲南市近畿ふるさと会
会長 木野村 文生

そして、10月5日には、都ホテル尼崎で、第10回雲南市近畿ふるさと会総会・懇親会を開催いたしました。
また、来年4月には、斐伊川堤防桜並木などを巡るバスツアーを企画しています。



懇親会の様子

平成16年に、大東、加茂、木次、三刀屋、吉田及び掛合の6町村が合併により、「雲南市」となったのを受け、それまで独自に活動していた6つのふるさと会（現在は「支部」）を統合しました。

ふるさと会は、平成19年に発足し、現在会員数は四〇〇名で、2年に一度総会・懇親会を開催しています。

発足の経緯から、活動は各支部の独自性を尊重する形で運営されてきました。各支部共通で見られる行事としては、支部の総会・懇親会、ハイキング懇親会、ゴルフ同好会やバスツアーなどがあります。



ハイキング懇親会

さて、平成20年に公開された、錦織良成監督の映画「うん、何？」でも触れられていましたが、雲南市には八岐大蛇伝説に関係するところが各所にあります。

例えば、大東町の須我神社は、須佐之男命が造ったとされる「日本初の宮」で、男命がこの地に美しい雲が立ち上るのを見て「八雲立つ 出雲八重垣妻ごみに 八重垣つくる その八重垣を」と詠んだことから、和歌発祥の地とも伝えられています。

さらに、日本桜名所百選に選ばれている斐伊川堤防桜並木、日本の滝百選に選ばれている龍頭が滝と八重滝、日本の棚田百選に認定されている山王寺の棚田が有名で多くの観光客を集めています。

皆様も風光明媚な雲南市に是非お越しください。

【お問い合わせ先】

雲南市近畿ふるさと会事務局長 長澤浩之
TEL・・・090-77962-0993

島根県大阪事務所からのお知らせ

イベント情報

【中四国9県観光物産展】

- ・中四国9県の観光PR、特産品の展示、販売
- ・各県ブースの買い回りでの抽選会
- ・ご当地キャラなどによるステージショー
- ・各県の観光地PR

島根県は、しじみ、そば、赤てんなどを販売します。ぜひ、お立ち寄りください。

〔日時〕 11月22日(土) 23日(日)

〔場所〕 ベルファ都島
ショッピングセンター



過去の中四国観光物産展の様子

近畿島根県人会事務局からのお知らせ

【近畿島根県人会 会員募集】

お知り合いの方で当県人会にご興味ある方がおられましたら、事務局までご連絡ください。活動内容や入会方法等をご説明します。

※市町村会の方で、県人会未加入の方へ、ぜひお声がけ願います。

【近畿島根県人会ホームページ閉鎖のご案内】

近畿島根県人会ホームページは、令和7年4月30日をもって、閉鎖いたしました。

今後は、島根県ホームページ内の近畿島根県人会のページをご覧ください。
(島根県ホームページを開き、「近畿島根県人会」と検索してください。)



島根県ホームページ
近畿島根県人会

【異動の連絡】

住所・連絡先などに変更がございましたら、近畿島根県人会「会報」巻末の「異動通知票」をご提出ください。また、記載事項に誤りなどがございましたら、事務局までご連絡ください。ご理解とご協力をお願いいたします。

各市町村の万博出展報告



LOCAL JAPAN展
万博首長連合(浜田市・益田市)



相撲EXP0での出展
相撲推進協議会
(出雲市・隠岐の島町)



安来節披露・体験
安来節保存会



「ブルー仁王」の展示と横田中学生徒による情報発信
奥出雲の風と土を紡ぐ会